

## 万博外国人インターン生研修

すでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、今年の大阪・関西万博のORAパビリオンには、外国人インターンシップ生がスタッフとして参加します。その方々の人材教育に弊社(株)Futabaが携わらせていただくことになりました。今回はその研修内容について少しご紹介いたします。

インターンシップ生は普段、母国であるタイやフィリピンなどの大学で、観光学やホスピタリティ等を学ぶ大学生です。日本に居住した経験はなく、現時点では母国で日本語の学習に励んでいます。

インターンシップ生が来日次第、すぐに連日の研修がスタートします。“万博スタッフ”として働く予定の“外国人”インターン生への研修…と聞いて、皆さまはどのような内容を想像なさいますか？やはり、「日本語」や「接客マナー」といった項目が真っ先に頭に浮かんでくるのではないのでしょうか。

当然、日本語やマナーの指導にも注力してまいります。重要なのは決してそれだけではありません。日本で生活すること自体が初めて。社会人としての経験もこれから。もちろん万博スタッフの経験も初…といった背景を持つ学生たちであることを鑑みて、日本語やマナーの教育と並行して、以下のような内容を学んでいただきます。

- ・万博スタッフとして働く意義や目的
- ・日本の社会人としての基本マナー、仕事に取り組む時の基本的な考え方
- ・外食業スタッフとしての心構え、基礎知識 など

また、万博期間中は全員がワンチームとして行動しなければならないため、仲間意識を持ってもらえるよう「チームビルディング」や、多様なお客様に柔軟に対応できるよう福祉の専門家による「障がい者接客」などの研修も取り入れる予定です。

万博本番まで限られた研修期間ではありますが、インターンシップ生全員が“ORAのパビリオンスタッフとして働けて良かった！”と笑顔で万博終了後に帰国できるよう、教育において出来る限りの手を尽くす所存です。

ただ、インターンシップ生たちは日本語学習に励んでいるとはいえ、やはり言語の壁がある不安感と緊張感に苛まれたまま会場に立つこととなります。もし皆さまがインターン生にお会いになった時にはぜひ「やさしい日本語」で話しかけてあげてください。彼ら、彼女らの気持ちが幾分か軽くなるはずです。

※「やさしい日本語」についてお知りになりたい方は、ORA ホームページの『外国人雇用情報 vol.3』をご参照ください。

スタッフとしての職務をまっとうするだけでなく、ORA の仲間である皆さまに受け入れていただき共に協力し合いながら働くことにより、万博での経験は「楽しい人生の思い出」に留まらず、インターン生それぞれの心に成功体験として深く刻まれることでしょう。そして、その成功体験を将来の道へと進む原動力に変え、学生たちの中に、“大学を卒業したら日本の外食業で働きたい！”と熱望する方々が現れてくれたら…。この流れが実現する事を、我々も理想としています。期待で胸を膨らませて来日し、異国での初めての生活、そして万博パビリオンスタッフという未知の領域に挑戦しようとする外国人インターンシップ生たちを、これから温かく見守っていただけますと幸いです。

## 株式会社 Futaba (ORA 賛助会員社)

代表取締役 国定 三恵 (ORA 外国人雇用促進部門会 業務委員)

就労外国人向け企業出張研修や技能実習生の生活指導を含めたトータルサポート、日本人社員向け研修で多数の実績を取めている。

あらゆる国の学習者と触れ合っていく中で、お互いが相手の価値観を理解し、認め合うことが大切だと感じ、共に笑い(共笑)、共に成長し(共育)、共に人生を楽しめる(共楽)、多文化共生社会を目指す。その原点に立ち、現在は日本在住の外国人の方々へ言語指導だけではなく、日本の文化、慣習、ビジネスマナーから日常の生活指導まで幅広いサポートを実施している。

